

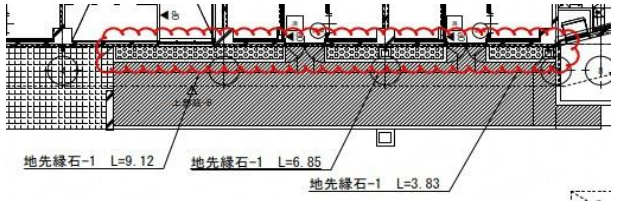
## 質 疑 回 答 書 ( 土 木 関 係 )

工事番号 5-相楽-10

工事名 相楽中部消防組合消防本部(署)新庁舎建設工事

番号	質 問 事 項	回 答 事 項
	< 土木 >	
1	C-056 造成工事の完成図は撤去平面と同等と考えてよろしいでしょうか。また、造成工事の完成図がありましたらご提示ください。	お見込みのとおりです。 完成予想図(1期工事設計図面)を別途提示します。
2	現在、この計画地で進んでいる開発工事の最終状態がわかる開発図面をご提示していただけますでしょうか。新庁舎建築工事の着工時の敷地状況を把握したいと考えています。	完成予想図(1期工事設計図面)を別途提示します。
3	土木Ⅱ期工事の範囲についての確認です。C-019:造成横断図-1からC-029:造成横断図-11に地盤改良、L型擁壁、間知ブロックの記載がありますが、これらの詳細図が無い事から、土木Ⅱ期工事には含まないと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 地盤改良、L型擁壁、間知ブロックは1期工事で施工済みです。 2期工事には含みません。
4	(C-040図) 現場打ち側溝及び雨水桝の構造詳細が不明です。 以下の様に考えて宜しいでしょうか。 ・配筋・・・D13@200シングル程度 ・コンクリート強度・・・FC21N スランプ 15	・鉄筋は使用しません。図面のとおり無筋コンクリート構造です。 ・コンクリート強度・・・18N スランプ 8 (←国土交通省の土木標準図と同じ考え)
5	(C-002～004図. 工事費設計書) 現況地盤レベルが不明です。外構土木工事着工時は、舗装路盤下まで造成済と考えて宜しいでしょうか。また、その場合、工事費設計書の敷地造成工の掘削、盛土、残土処分はどの部分の数量でしょうか。舗装下の鋤取り・盛土が発生する場合は、着工時の現況地盤レベルが分かる資料をご提示下さい。	現状地盤面(1期造成工事完了後レベル(本工事開始時))は、原則として構内舗装厚を考慮したレベルでの仕上げとなっています。 別途提示する完成予想図を参照ください。 また、土工は仮設側溝の埋戻し、側溝を設置するための掘削、高さ調整のための盛土や掘削です。数量については数量計算書を参照ください。

## 質 疑 回 答 書 ( 土 木 関 係 )

6	(C-018.055図) 植栽の土壌改良-7の客土について、購入真砂土+土壌改良と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	(C-012図) 消防本庁棟外部の下記の地先縁石-1に囲まれた斑点表示部分は、花壇の様にも見えますが、詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	地先縁石-1で囲まれた中は単粒度砕石2号 (S-60 t=10cm) を入れます。数量は計上漏れですが、工事費の積算については、未計上で積算ください。なお、未計上の項目は、設計変更の対象とします。
8	(C-012図. 工事費設計書) 花壇縁石について、工事費設計書では46mとなっていますが、図面数量を合計すると65.4mとなり、くい違います。 図面数量の65.4mを正と考えて宜しいでしょうか。 	ご指摘のとおり、65.4mが正です。 ただし、工事費の積算については、閲覧設計書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
9	現況地盤レベルが不明です。建築着工時は、舗装路盤下まで造成済としてよろしいでしょうか。現況と路盤下のレベル差が発生する場合は、現況地盤レベル図等をご提示下さい。 <C-002~004>	番号5の回答のとおりです。
10	工事費設計書におきまして、敷地造成工の掘削、盛土、残土処分の詳細が不明です。どの部分の数量か分かる資料等有ればご提示下さい。 <工事費設計書>	番号5の回答のとおりです。
11	道路施設平面図におきまして、花壇縁石の数量が、工事費設計書では46mとなっていますが、図面数量を合算すると65.4mとなり、相違しています。 図面数量の65.4mを正としてよろしいでしょうか。 <C-012. 工事費設計書>	番号8の回答のとおりです。

質 疑 回 答 書 ( 土 木 関 係 )

12	消防本庁棟外部南側の地先縁石-1内の斑点表示部分の詳細が不明です。詳細をご指示下さい。 <C-012>	番号7の回答のとおりです。
13	排水構造図におきまして、現場打ち側溝と雨水枿の配筋が不明です。D13@200シングル、としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <C-040>	番号4の回答のとおりです。